

《 総合研究所の活動① 2022年4月1日から2023年3月31日 》

研究会・研修会	2022年度回数	開催日	発題者・発表者	主 題	参加人数
第14回埼玉税法研究会	第1回	5月21日	—	修士論文構想報告会	30名
競争的資金獲得のための研修会	—	7月13日	西村洋一(聖学院大学心理福祉学部教授)、鈴木詩衣菜(同大学政治経済学部准教授)、小沼聖治(同大学心理福祉学部准教授)	①趣旨説明 ②科研費受給の体験 ③質疑応答 ④研究支援について	40名
児童学研究会	第1回	7月20日	仲井勝巳(聖学院大学人文学部児童学科助教)	理科教育における「振り返り」指導方略の研究	16名
第15回埼玉税法研究会	第2回	11月12日	—	修士論文構想報告会	29名
児童学研究会	第2回	1月6日	菅原陽子(聖学院大学人文学部児童学科助教)	G.E.キョックリヒのキリスト教教育思想と実践——私たちが受け継ぐもの	16名
グローバリゼーションと日本文化研究会	第1回	2月1日	杉淵洋一(聖学院大学人文学部日本文化学科准教授)	雑誌「種時く人」はなぜ1921年に秋田で創刊されたのか—その源流としてのプロテスタントイズムの影	8名
「公正な研究活動の推進におけるコンプライアンス教育」研修会	—	2月8日	原 聖(東北大学大学院文学研究文化科学専攻哲学講座准教授)	文献研究の指導方法を考える——引用の倫理の観点から	96名
教会心理研究会(第一研究会)	全2回		<非公開>	<非公開>	※13名
教会心理研究会(第二研究会)	全2回		<非公開>	<非公開>	※15名
基礎自治体マネジメント研究会	全10回		猪狩廣美(聖学院大学政治経済学部政治経済学科特任教授) 長嶋佐央里(聖学院大学政治経済学部政治経済学科准教授) 石塚敏之(筑波総研顧問・元つくば市企画部長) 池田洋子(聖学院大学非常勤講師・元荒川区環境清掃部長)	若手・中核人材育成プログラム	※24名

※登録者数

研究講演会・シンポジウム・セミナー	2022年度回数	開催日	講演者・シンポジスト	講演題	入場者数
教会サマーセミナー	—	9月12日	堀 肇(鶴瀬恵みキリスト教会牧師、聖学院大学総合研究所特別研究員) 花野井百合子(聖学院大学総合研究所特別研究員)	牧師がクリスチャン心理士に期待すること、クリスチャン心理士が牧師に期待すること	18名
心理学研究講演会	第1回	9月16日	伊藤亜矢子(聖学院大学心理福祉学部教授)	教育現場における心理職——スクールカウンセラーと学校の協働	42名
福祉のこころ・ソーシャルワーク研究講演会	第1回	10月1日	井上牧子(目白大学人間学部教授) 小沼聖治(聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科准教授) 南里祐介(聖学院大学卒業生)、藤原由紀(同)、加茂航平(同) 柏木昭(聖学院大学名誉教授、日本精神保健福祉士協会名誉会長)	あらためて「かわり」とは何かを考える	49名
第10回日韓神学者学術会議(日韓シンポジウム2022)	—	11月11日	片柳榮一(聖学院大学大学院客員教授) キム・ヨンウォン(金永元)(長老会神学大学校組織神学助教授) アン・ユンギ(安允基)(長老会神学大学校(PUTS)哲学副教授) 島田由紀(青山学院大学専門職大学院国際マネジメント研究科准教授)	人間:アジアの人間観と神学的人間論——21世紀における人間性回復のための統全的取極(2)	36名
心理学研究講演会	第2回	11月30日	長谷川恵美子(聖学院大学心理福祉学部教授)	心臓リハビリテーションにおける心理職——さまざまな連携を考える	42名
心理学研究講演会	第3回	2月25日	田中康雄(こころとそだちのクリニックむすびめ院長)	発達しようがいの今——メンタルヘルス・ケア・ワーカーとしての協働を考える	68名
心理福祉学研究会地域連携講演会	—	3月25日	光武克(発達障害バナー「The BRATs」オーナー)、姫野桂(フリーライター)、池田誠(放課後等デイサービス「BUTTERFLY EFFECT」代表) 田村綾子(聖学院大学大学院心理福祉学専攻科長・同大学心理福祉学部長・教授)、大橋良枝(同学部教授)、森岡由起子(同学部特任教授・同学部附属心理相談室長)、長谷部雅美(同学部准教授)	発達障害当事者と「ハタツ」を語ろう——私たちが創る、共に生きる社会	56名

助成研究	概要
「元」の探求——復興を思想的に支える正義論の構想	研究代表:今出敏彦(人文学部教授) 阪神淡路大震災の復興過程並びに神戸の現状について、市役所職員、地元住民に対しインタビューを実施。
韓国の移民政策と排外主義	研究代表:春木育美(政治経済学部教授) 韓国における外国人居住者への排除と包摂、排外主義の生起と推移、現状に関し研究を進め、成果の一端を春木育美、吉田美智子共著「移民大国化する韓国」明石書店(2022.11)として刊行した。
大学ボランティアセンターの教育機能の発揮条件に関する実証的研究——ボランティアコーディネーターの支援実践に着目して	研究代表:若原幸範(政治経済学部准教授) 共同研究者:川田虎男、芦澤弘子(ボランティア活動支援センター) 月1回程度の研究会開催、関西地区の大学ボランティアセンター等への調査を実施。また11月には日本福祉教育・ボランティア学習学会(神戸大会)にて研究成果発表を行った。

※登壇者の役職名・所属は、実施当時のものを記載しています。